ＤＩニュース　No.632　2022.3.23（水）

埼玉協同病院薬剤科

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬について

昨年から今年2月にかけて、新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）に対する薬剤の特例承認が相次ぎました。今回は主に軽症から中等症で使用される各薬剤の特徴を紹介します。また、中和抗体薬では、ロナプリーブ®に続いて特例承認を受けたゼビュディ®について、当院での使用実績を報告します。

＜COVID-19に対する薬剤分類＞

①中和抗体薬：ウイルスの細胞への侵入を防ぐ

商品名 （成分名）	適応 （重症度）	注意点
ロナプリーブ® （カシリビマブ/イムデビマブ）	軽症～中等症Ⅰ	・オミクロン株に対する効果なし
ゼビュディ® （ソトロビマブ）	軽症～中等症Ⅰ	・過敏症などの副作用に注意

②抗ウイルス薬：ウイルスの増殖を抑える

ベクルリー® （レムデシビル）	軽症～	・徐脈、肝障害などの副作用に注意
ラゲブリオ® （モヌルピラビル）	軽症～中等症Ⅰ	・妊婦や妊娠の可能性のある人には使用不可 ・投与終了後4日間は避妊が必要
パキロビッド® （ニルマトレルビル/リトナビル）	軽症～中等症Ⅰ	・相互作用のある薬が多い ・腎機能に応じた用量調節が必要

③抗炎症薬：ウイルスによる炎症を抑える

デキサメタゾン　内服・注射	中等症Ⅱ～	・妊婦に対してはプレドニゾロン投与
オルミエント® （バリシチニブ）	中等症Ⅱ～	・腎機能や併用薬による用量調節が必要 ・妊娠または妊娠している可能性のある女性には禁忌 ・ベクルリーとの併用が必須 ・粉砕不可（溶解法可能）

＜症状毎の治療方法の考え方＞

厚生労働省より発行されている「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き」等を基にした治療を実施しています。重症度、重症化リスクや発症からの日数などよって治療薬を選択します。

●重症化リスク※1を有さない場合には解熱鎮痛薬や鎮咳薬などの対症療法で経過観察。

●重症化リスクを有する場合に薬物治療を検討。充分な効果を得るために中和抗体薬や抗ウイルス薬は発症早期に開始されることが望ましく、以下の服用開始を推奨。

・ロナプリーブ・ゼビュディは発症から7日以内に投与

・ラゲブリオ・パキロビッドは発症5日以内

＜重症度別の主な治療薬の選択と特徴＞
●軽症（重症化リスクあり）：中和抗体薬（ゼビュディ®）
※単回の点滴で投薬が終了するため最も使用頻度が高い。
※ロナプリーブ®も中和抗体薬のため選択肢となるべきはずだが、現在流行のオミクロン株に効果が期待できないことが確認されているため、使用していない。
※2022 年 3 月よりベクルリー®も適応追加となった
●中等症Ⅰ：ゼビュディ®又はベクルリー®
●中等症Ⅱ：デキサメタゾン±ベクルリー®

～ひとくちメモ～
経口薬であるラゲブリオ®、パキロビッド®は当院では現時点で処方歴はありません。
なぜなら経口薬の対象となる患者さんは重症化リスクが高いため入院加療として注射薬を使用しているためです。今後病床がひっ迫し、本来入院すべきであるが、やむを得ず外来治療が必要となった場合に使用を検討する方針です。

ゼビュディの使用実績

＜中和抗体薬：ゼビュディ®とは？＞
SARS に感染した患者から得られた抗体を元にしたモノクロナール抗体で、ウイルスの増殖を抑え、重症化を抑制する効果が示されています。当院では先に特例承認を受けていたロナプリーブ®を使用していましたが、オミクロン株が流行の主流となった現在、ゼビュディ®を使用するようになりました。
＜投与対象者＞
・発症から 7 日以内（できるだけ初期の投与が望ましい）
・酸素投与を要していない（軽症～中等症Ⅰ）
・重症化リスク因子が一つ以上ある（55 歳以上、高血圧などの心血管疾患、糖尿病など）

＜当院における使用実績＞
2022 年 1 月～2022 年 3 月 4 日までに計 20 名の患者に使用

重症化リスク因子の内訳

年齢（55 歳以上）	14 名
心疾患（高血圧を含む）	7 名
糖尿病	4 名
呼吸器疾患	1 名
慢性腎障害（透析を含む）	6 名
肥満（BMI：30kg/m^{2}超）	2 名
担癌	2 名

投与日の発症からの日数

0（発症日）	1 名
1	4 名
2	4 名
3	7 名
4	2 名
5	2 名

新型コロナウイルスワクチン接種歴

未接種	4 名
2 回接種済み	14 名
3 回接種済み	1 名
不明	1 名

重症化リスク因子としては年齢が最も多く、透析患者や妊婦などにも投与しました。
中和抗体薬使用後に状態悪化があり、抗ウイルス薬や抗炎症薬を使用する事例もありましたが、全ての方が軽快しました。ゼビュディを投与した方の 80%はワクチン接種歴があり、安全性について目立った副作用は見られませんでした。
以前使用していたロナプリーブ®で目立っていた投与後の発熱も現時点では見られませんでした。

コロナ感染後のワクチン接種について

Q. コロナ感染後にワクチン接種は出来ますか？
A.初回接種（１回目、２回目）、追加接種（３回目）に関わらず、体調が回復して接種を希望する際にはワクチン接種をすることができます。

Q. コロナ感染後、どのくらいの間隔を空けてから接種出来ますか？
A. 今までは、感染から追加接種までの期間を暫定的に３ヶ月間隔空けることを目安としてきましたが、現在は感染から回復または隔離解除していれば、初回、追加接種に関わらずスケジュール通りに接種可能です。

Q. COVID-19 の治療を受けた場合はいつからワクチン接種可能ですか？
A. 今までは中和抗体薬（ロナプリーブ、ゼビュティ）治療を受けた場合は３ヶ月間隔を空けるように伝えていましたが、現在はどのような治療を受けた場合でも回復または隔離解除していれば、希望する日にワクチン接種をすることができます。

※抗体中和薬治療がワクチンの抗体価上昇を抑制することは解っていますが、接種を延期することよりもスケジュール通りにワクチン接種を実施することが感染抑制につながることが解ってきたため、３ヶ月間隔の規定が撤廃されました。

Q. コロナ感染するのとワクチン接種するのでは、どちらが抗体価が高くなりますか
A. 自然に感染するよりもワクチン接種の方が、新型ウイルスに対する血中の抗体価が高くなることが解っています。また多様な変異に対する抗体の産生も報告されています。

【参考資料】オミクロン株に対する抗体価　※抗体価の強さを★で表現

・ワクチン２回+感染　→抗体価　★★★
・感染+ワクチン２回　→抗体価　★★★
・ワクチン２回　→抗体価　★★
・感染　→抗体価　なし
（過去の感染はオミクロン株の感染予防にはなりません）
・感染+ワクチン３回　→抗体価　★★★★
・ワクチン３回　→抗体価　★★★

引用；厚生労働省　新型コロナワクチン Q&A より

－今月号の目次－
①＜今月のトピック１＞新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬について・・・・・・P1･2
②＜今月のトピック 2＞ゼビュディの使用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
③＜今月のトピック 3＞コロナ感染後のワクチン接種について・・・・・・・・・・・・・・・P3
④＜ＤＩ情報＞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4

DI 情報

【副作用報告】　DI 委員会２月報告　：行田１件、熊谷２件、かすかべ２件

No	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	リリカＯＤ錠 25ｍｇ	うっ血性心不全 血圧上昇 高Ｋ血症	3 2 3	行田	可能性あり
2	クラリスロマイシン錠 200ｍｇ「サワイ」 アスベリン錠（20ｍｇ）	血小板減少	1	熊谷	可能性あり
3	リレンザ	異常行動	1	熊谷	可能性あり
4	ボノサップパック 400	発疹	1	かすかべ	可能性あり
5	アトルバスタチン錠 5ｍｇ「サワイ」	下肢の筋肉痛	1	かすかべ	可能性あり

【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】12 月分

薬剤名	経過・内容・
ラベプラゾール	逆流性食道炎症状悪化のためラベプラゾール 20ｍｇ1×に増量し 6 週間服用していたが交付時に胃症状改善したと聞き取りした。主治医にラベプラゾール減量の提案し、20ｍｇ1×⇒10ｍｇ1×へ減量となった。
ジャヌビア グリメピリド	血圧・糖尿病の薬を内服中だが、今回血圧の薬のみの処方であったため、本人に聞き取りしたところ金銭面に不安あり、糖尿病薬は削除希望あり。全中止ではなく、高価なジャヌビア中止、グリメピリド増量を提案し、ジャヌビア中止・グリメピリド増量・メトホルミン減量となった。
アナストロゾール	アナストロゾール開始時にバゼドキシフェン酢酸塩（＝ビビアント　SERM)継続中に気付く。エビスタ（ラロキシフェン）ではなかったが、SERM なのでアナストロゾールの薬効抑制の可能性があり併用は避けた方が良いと判断し、主治医に変更を提案した。

【採用薬変更のお知らせ】（県連薬事委員会１月報告より）

新規採用・新規試用				採用削除		
変更理由	メーカー	薬品名	薬価	メーカー	薬品名	薬価
新規採用	EA ファーマ	モビコール配合内用剤 LD	80 円/包			
新規試用	ファイザー	ステルイズ水性懸濁筋注 240 万単位シリンジ	9273 円/本			
	大塚製薬	レキサルティ OD 錠 0.5mg/1mg/2mg	260.6/1 mg			
	日興製薬	亜鉛華軟膏「ニッコー」	2.4 円/g			
	ノーベルファーマ	リティンパ 250μg セット（	32628.8 円			
	ファイザー	パキロビッドパック	薬価未収載			
	ゾンネボード	ビフロキシン配合錠	5.9 円/錠			
試用取り下げ				第一三共	グレースビット錠 50mg（処方は可能）	146 円/錠
				富士フイルム富山	アビガン錠 200mg	薬価未収載
				帝人ファーマ	オルベスコ 200μgインヘラー56 吸入用（抗 COVID-19 治療薬）	2014.2 円